

【資料】ジュロン・バードパークで検出された寄生蠕虫類に関する分類と疾病に関する統報

近本 翔太¹⁾, 奥村 ちはる²⁾, 佐々木 梢¹⁾, 浅川 満彦^{1)†}

1) 酪農学園大学獣医学群 2) ジュロン・バードパーク

背景と目的

2007年以来、演者らはシンガポール国のジュロン・バードパーク（以下、パーク）で経験された寄生虫病の症例報告をしてきた（金谷ら, 2016; Okumura et al., 2014, 2015）。今回は、2017年前後に剖検時に新たに収集された蠕虫類が記録された症例・検出例を中心に紹介をする。なお、本発表内容の一部は第24回日本野生動物医学会大阪大会および鳥類臨床研究会第22回年次大会におけるポスター発表のものと重複する。

材料および方法

蠕虫寄生が認められた鳥種はパークで飼育されていたヤツガシラ *Upupa epops*、ホオカザリヅル *Grus carunculatus*、ヤシオウム *Probosciger aterrimus*、ヨウム *Psittacus erithacus*、コガネメキシコインコ *Aratinga solstitialis* およびチゴモズ *Lanius tigrinus* の計6種であった。ヤシオウムは同じ蠕虫が2個体から得られたが、他宿主種では各1個体であった（計7個体）。得られた蠕虫は70%エタノール液で固定され、条虫・吸虫は酢酸カーミン液にて染色後、永久標本が作製された。また、線虫はラクトフェノール液で透徹され、光学顕微鏡で形態分類学的検討をした。これら蠕虫類標本は、現在、酪農学園大学野生動物医学センターで保存されている。

結果と考察

本統報で検出された蠕虫類の写真を図1から4に示した。まず、ヤツガシラの気嚢からの蠕虫は Cyclocoelidae 科 *Szidatitrema* 属のある種と同定された（図1）。この鳥種でこの属吸虫が見つかったことは初めての記録となる。しかし、パークでは過去にサイチョウ類およびムクドリ類で *Szidatitrema* 属吸虫の肺への高度寄生による致死症例が既報告であるので（金谷ら, 2016; Okumura et al., 2014）、このパーク施設内で当該吸虫類の生活史が成立していることは明らかで、防疫対策が必須である。ただし、パーク内は広大で多様な植物があり、中間宿主巻貝類の完全駆除は困難である。従って、定期的な糞便検査による感染個体の隔離などの対策が次善の策となる。次いで、ホオカザリヅルの小腸から得たものは Ascarididae 科線虫 *Porrocaecum ardeae* と同定された（図2）。*P. ardeae* はミミズ類を中間宿主/待機宿主として利用する。したがって、同公園の土壤にこのような動物が恒常的に生息し、捕食し易い状態が続くと再感染は継続するはずである。*P. ardeae* の重度寄生によるツル類の死亡例もあり、より詳細な保有状況の把握が望まれた。さらに、ヤシオウムの小腸から得たものはダベン条虫科 *Raillitenia* 属のある種と同定された（図3）。この属は種によっては、腸粘膜に結節を形成し、重篤な消化器症状を引き起こすような病原性の高い条虫種もあり（特に家禽類）、こちらも注意が必要であるの

†連絡責任者：浅川満彦（酪農学園大学）〒069-8501 北海道江別市文京台緑町582番地 E-mail: askam@rakuno.ac.jp

で、今後の保有状況の推移を継続的に把握したい。ほか4種の鳥類小腸からのものも条虫類の成熟あるいは老熟（受胎）片節が得られたが（図4）、残念ながら、詳細な分類は不明であった。

謝辞

本報告は（独）日本学術振興会（JSPS）科研費基盤研究C（26460513）『動物園水族館動物に密かに蔓延する多様な寄生虫病の現状把握とその保全医学的対応』の一環でなされた。

引用文献

- 金谷麻里杏・奥村ちはる・浅川満彦. 2016. 新興呼吸器病の起因吸虫 Cyclocoelidae 科の展示ムクドリ類における事例と予防. 鳥類臨床研究会会報, (19) : 13-15.
- Okumura, C., Hirayama, T., Kakogawa, M. and Asakawa, M. 2014. Case report of a dyspneic red-billed hornbill parasitized by cyclocoelid trematodes in Jurong Bird Park, Singapore. Jpn. J. Vet. Parasitol., 37: 13-15.
- Okumura, C., Sado, Asakawa, M., Mandenhall, I. 2015. A case of myocardial microsporidiosis in Australian crested pigeon *Ocyphaps lophotes* at the Jurong Bird Park, Singapore. Program and Abstract of the 21st Annual Meeting of Japanese Society of Zoo and Wildlife Medicine, Rakuno Gakuen University, Ebetsu: 95.

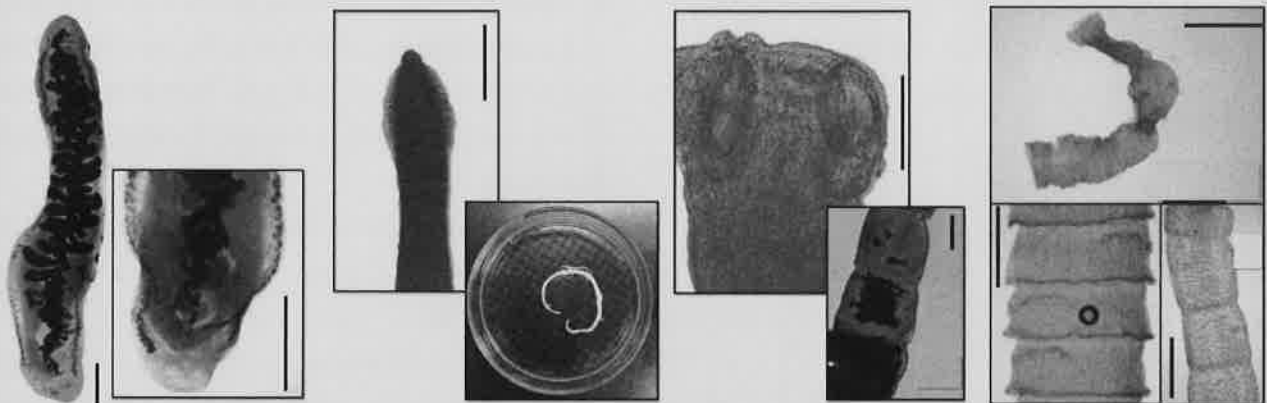


図1. ヤツガシラ気嚢から検出された *Sziaditrema* sp. (Bar = 1mm) 右は精巣・卵巣などの部分を拡大したもの

図2. ホオカザリヅル小腸から検出された *Porrocaecum ardeae* (Bar = 1mm) 左は頭部を拡大したもの。顎翼がよく発達

図3. ヤシオウム小腸から検出された *Raillitenia* sp. (Bar = 200µm) 左は頭部を拡大したもの。吸盤上の鉤明瞭

図4. 小腸から検出された分類不明の条虫類。上:チゴモズ(宿主、以下同様)、左下:コガネメキシコインコ、右下:ヨウム(Barはいずれも1mm)